



ほけんだより 11月号

2021年11月1日
社会福祉法人尚徳福祉会
保土ヶ谷保育園
看護師

今年も残すところあと2か月となりました。秋から冬へと気温が下がると同時に空気が乾燥してきます。乾燥はウイルスの増殖を促しインフルエンザをはじめ様々な感染症が心配される時期です。うがい・手洗いを習慣づけて病気の予防に努めましょう。季節の変わり目を体調に気をつけて楽しく過ごしましょう。



薄着をこころがけましょう

肌寒さを感じる日でも、外遊びで日光にあたりとかなり暑く感じるものです。

肌着は綿素材などの半袖が適しており、発熱素材を使用したものは、日光の下では暑すぎるため不快です。

肌着の上には薄手の長袖を。

真冬でも裏起毛のないトレーナーなどが適しています。外遊びの際は、その上に上着を着ます。

寒そうな日には、予備の長袖を引き出しにご用意いただければ、園で判断し、重ね着をして出かけます。

寒そうでは…と心配しがちですが、子どもたちは常に動いて遊び、どちらかという暑がりです。

暑く不快であることから不機嫌になることも多々あります。

気持ち良く過ごせるよう薄着をこころがけてあげましょう。

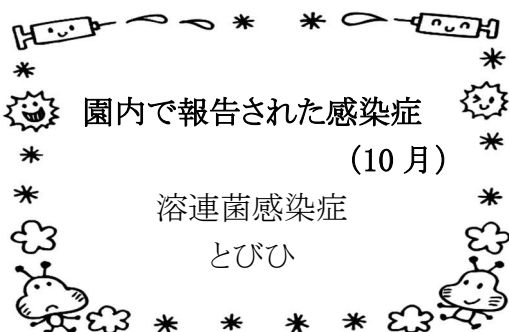


健康診断のお知らせ

11月9日(火)

年明けに予定されていましたが、早まりました。ご協力お願いいたします。

インフルエンザの **予防接種** を
受けましょう。



園内で報告された感染症

(10月)

溶連菌感染症

とびひ

肌荒れ対策をしましょう

湿度が下がり、過ごしやすくなった一方、薄く敏感な子どもの肌はすでに乾燥が始まっています。

入浴後、登園前には保湿剤を塗ってあげましょう。

市販の保湿剤を使用しても肌トラブルがある場合は、かかりつけ医や皮膚科医に相談しましょう。

※園では、乾燥が気になるときは、ワセリンで対応しています。

使用を希望されない方はお申し出ください。

